

1年生学年だよ

平成 28 (2016)年 5月 17日

第 14 号

吹田市立第二中学校第一学年

「試される」のではなく、「挑戦する」。

GW の過ごし方の計画を立て、テスト勉強の計画を立て、そしていよいよ 5/19・20 は 1 学期中間テスト本番です。中学生になってからの初めてのテストなので、まだまだ緊張している人も、楽しみにしている人もいます。

さて、ここで 1 つ質問です。テストというのは何のためにあるのでしょうか。少し考えてみてください。成績のため？みんなを困らせるため？いろんな考え方がありますが、テストというのは「**自分の取り組んできたことがどれだけのものかを試すため**」のもので、今回のテストで言うと、4 月に入学してきてからテストの日までの間に、みんながどれだけ取り組んできたのかを試すためのものです。

この「試す」というのは「**挑戦する**」という意味です。そして挑戦するのは先生たちではなく、みんなです。授業中に一生懸命話を聞いたこと、塾や家で勉強してきたこと、ドリルやノートなどに頑張って取り組んできたこと。



そのすべてをぶつけて、**今の自分はどれくらいのことのできるのか挑戦する場**なのです。当然、この挑戦は人によってそれぞれ違います。苦手な教科だけ挑戦する。得意な教科で高得点を目指して挑戦する。どんな形でもかまいません。「挑戦する」という気持ちを持ってテストを受けて下さい。

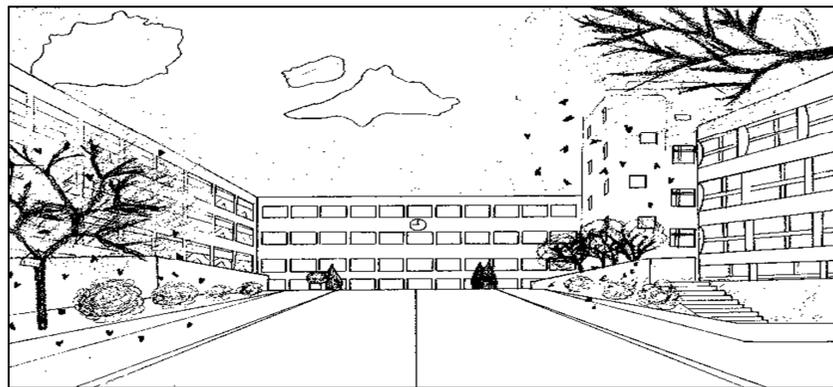
公式戦のルール。

頑張ってきたことをぶつける場であるテストは、スポーツで考えてみると公式戦にあたるものです。クラブや習い事を頑張っている人は、試合や発表会で練習の成果を出すことを目標に頑張っているはず。もちろんその試合に勝ったり、賞状を取ったりできると嬉しいです。

よね。「頑張ってきてよかったな」と思えるはず。しかし、その結果がほしいからといって何でもかんでも OK ということにはなりません。サッカーの試合で点を取りたいから手を使う、なんてことは許されないことなのです。ではなぜ許されないことなのかというと、**同じ種目や舞台で頑張ってきた他の人に失礼だから**です。「ルールだから」ということではなく、「**みんな同じ舞台で正々堂々と競い合おう**」というのがスポーツなどでのルールです。



これはテストにも当てはまることです。いくら点数がほしいからといって何でもかんでも OK ではありません。テストにはテストのルールがあります。これも「ルールだから守る」のではなく、「**みんな同じ舞台で正々堂々と挑戦する**」ためです。自分が頑張ってきたことがどれだけのものなのかを「挑戦する」気持ちで、テストの日を迎えてほしいと思います。



(美術部作品より)

たかが当たり前、されど当たり前、 それが二中の成長に。

2016 年度前期生徒会のスローガンでもあるこの言葉。

当たりのことを当たり前でできる人になって、よりよい二中を作っていきましょう。